WASON
HQ
1104
J94+

驛遞局認可
明治二十年三月十九日刊行

女學雜誌

每土曜日發兌
一册正價五錢
府內無郵送稅

第五十六號

東京 女學雜誌社

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

The Women's Magazine.

(JOGAKU ZASSHI.)

No. 56. March 19th, 1887.

第五拾六號

EDITORIAL:—Woman and Scientific Study: No. II.

LEADING ARTICLES:—Love, the Motive Power of Woman's Labour, by Rev. Mr. T. Matsuyama; Voluntary Marriage, by Senator S. Nishimura: No. V; The Christian Education of Women, by Mrs. Knox No. III.

BIOGRAPHIES:—Caroline L. Herschel, the Patient Astronomer; Mrs. Margaret's Letter to her Husband.

CORRESPONDENCES.

GENERAL NEWS.

ADVERTISEMENTS.

●社説　女子と理學(第二)

●論説　松山髙吉君演説(婦人百業の基本)筆記(二)○西村茂樹君男女相擇の説(五)○ノックス夫人基督教主義女子教育論(三)

●佳傳　天文學者ハーシェル女の傳○マルガレットの遺書

●寄書　結婚齢の制限を論ず第二(上林敬次郎)婦人矯風會員に告ぐ(佐々木豊壽)和歌五首(今西民子)詩一首(香雪女史)我東髪會員に告ぐ(和崎義路)

●新報　二十五件　●廣告

●珊瑚の玉　(第二十五回)

○今ま婦人の名に阿の字を冠らしむるとれ(例へば政子と云ふを お政と云ふが如し)太平記に髙師秋が菊亭殿に在りし阿方と云ふ女を奪ひしとあれば四五百年以降のことと見へたり今の清にも女を呼ぶに阿をつくると云ふ日知録に隋獨孤后謂雲昭訓爲阿雲今閭巷之婦亦以阿挐其姓也と姓を挐ぐとは譬へば源氏の女はお源と云ひ藤氏なればお藤と云ふあり　(撈海一得)

○ハンナモア女は俳優の大家ゲーリックと友とし善し故にインフレキシブル、カプチーブ。ペルセー。フハタル、フホルスフード。セークレッド、ドラマ。等の院本を著し世の演劇を改良し之によりて道徳を敎ゆるの方便とあさんとはせり然れども多年の後遂に失望して歎じて云く演劇に向つて唇氣樓的の善を要するは看客の全く淸潔となるの後を待たざれば能はずと

○或人妻を迎へたるに一眼にて有しかば其夫物憂きことにおもひ言ひ罵りければ彼妻かくあん

みめよきは夫のためにふためあ｜
　　女房はいへのかためなりけり

と詠じければ其夫も理に伏し語らひ榮へけるとなん(耳袋)

女學雜誌第五拾六號　明治二十年三月十九日

●社說

○女子と理學（第二）

我國の學風ハ甚だ浮文の弊に流れ易く專ら實際を重んずるの方向に疎し此の習慣たる素と數百年來の遺傳にして一朝一夕の間に成りたるものにあらざれば之を除くと亦容易にあらず故に凡そ今の學者たるものは皆な之を憂とし各自その改め方に掛念すべき義務を負ふが中にも彼此共に先づ盡力すべきの一事は即ち實事實物を基として道理を研窮する所云るかの理學なるものを奬勵するにあるべし然るに女子の性は元來浮文に奔り易くその稍や敎育あるものに至ては彌々小說傳記の類に耽りて益す浮きたる文事を樂むの風あるが故に此際女流に理學を勸むる利益少からざるを見るなり先づ交際社會の談柄をして專ら浮文に流るの通弊を去らしむるが爲には此事必ず多少の効能あり延て男子および一汎の國民に理學を奬勵するの効能あるに至らんとは吾人が本論の第一篇に於て論述したる所の要旨なり

然るに人ありて女子は素と文學に長じて理學に疎し凡そ感情に訴へて多く泣き且つ喜ぶの學事はその尤も好む所なりと雖もかの微なる虫を顯微鏡の下に照し眞砂に似たる星を望遠鏡の中に寫して刻々苦思するが如きハ其の尤も長せざる處なり左れば女流に理學を勸めてその敎育を婦人の社會に盛んならしめんとするハ其勞殆ど無効に屬して其利を收むる能ハざらんと云ふものあり吾人も亦た此論の前半には同意を表し敢て其實際なるを疑はざるものと雖も之が爲めに理學敎育を女流に無効なりと云ふに至ては斷じて大に不同意を表せざるを得ず抑も此如き說多少古來の學者間に行れたるが爲に理學を以て女學敎課中の大切なるものとなさゞるの輩少からざるハ尤も歎息すべきの誤謬と云ふべしかの天文學は理學中の尤も高尙なるもの也然るにボルテールをして喫驚せしめたるチヤテレットより古人の未だ知らざる惑星を發見したるかのハーシエル、リームカー、ミッチエール、等を經て夫の困苦を慰藉して數多の天文を穿鑿したるホール、ジヤンセンの如きに至る迄斯の學の上に不朽の名を留めたる數多の人々は皆な女流にあらずや忍耐の氣象細密の思考を要する天文の學の如きに於て尙ほ既に如此し安んぞ盲目の夫を助けて蟻螻の性を研究し試驗室內夫に伴て先づ理學上の諸現象を注視したる數多の夫

人あることを奇しまんや然れバ女子を理學の研窮に全く不適當なるものとして婦人の敎育に此一科を欠くを以て敢て不可なしとするは古來の事實を知らざるの暴言なり吾人少か女子の性質を研窮してその素と文に長じて理に疎き所以を承知するものと雖も安んぞ此如き亂暴なる斷論に迷ハさるヽを得ん當に之に不同意を表するのみにあらず女子の性すでに理に疎きが故に之に彌々理學の敎育を勸むるを以て我國當今の改良に必要ありと認むるもの也

然れども吾人ハたヾ我國當今の學風を改めて數百年來に遺傳したる惡習慣を文海より洗ひ去らんが爲にのみ女子に理學を勸むるにあらず理學の敎育は亦實に女子に必要の關係あるとを知るが故なり先づ一個の人間たる以上はその自躰を保護する爲に何人も一通り心得置かざる可らざる理學あり好し亦た身躰保護に必要ならざるとも凡そ開化の時代に住ひて文明の書を讀み文明の交際を爲さん爲に亦何人も大畧承知せざる可らざる所の理學あり此等は男女に論なく共に學び置くべき者なるが故に今事々しく之を辨ぜずして可なりと雖もたヾ普通の娘たり妻たり母たるが上に就て理學の必要何如んと云ふも玆に亦殆んど數ふ可らざる程の事件多きを見るべし例へバ月經を見て產子年齡と爲りたるの初より女子にのみ起り來る躰內の變化少からず女子よく其理を心得て取扱を正くせざれバ災を後年に遺して延て子孫に害を及ぼすことありとは醫學者の甚だ喧く論ずる所なり且つ讀書の方法、運動の仕方、起臥の習慣等に至る迄此年齡に達したる以來の女子が男子と異りて心得置くべきの覺悟甚だ多きが故に此等は皆な娘孃が生理の學に於て學び置くべきの事となす既に人の妻となりては結婚の當夜より產兒の曉に至る迄亦生理の上に於て心得べき事項甚だ多きが上に家內の衞生に注意し炊燒の經濟を倹約し出入の勘定を綿密にするにも理學化學算數學等を心得置かざれバ莫大の損害あるべし之より後ち既に兒を擧て母となるに至てはその兒を健康に養育せんが爲に生理理化の學に關する數多の智識を要するは勿論その兒の尙ほ幼稚なる間に於て智力を開發するの家庭敎育は理學の大畧を承知したるものにあらずんハ決して得行まじきものなるが故に玆に至て母が斯學を要すること彌々切なるべし然るに我國當今の婦女子ハ理學の何物たるを辨ぜず物事の實理を殆んど全く度外に置くが故に娘孃となつては爲に一身の健康を害するの行を爲すこと少からず妻となつては爲に一家の損亡を來すこと甚だ少からず既に母と爲て

は子弟の養成教育に大なる誤を行ひ爲に生ずるの害毒實に云ふ可らざるものあるなり勢如此なれば吾人今ま豈に女子に理學上の智識を求むべきとを奬勵せざるを得んや是れ當今の女子教育に理學を多くするとを要する由縁の二也

●論説

○東京婦人矯風會大會演説錄

松山高吉君演説（婦人百業の基本）筆記　（二）

また女權といふことが追々世に盛んになるやうで有ますが固より男女の權理に違ひあるべき筈なし互に其權理を犯さず犯されず之を全うしてこそ快樂もあり幸福もいづるハ當然のとなれど、權理の鋒先が餘り鋭どくなると反て快樂も幸福も逃去て厭ふべき弊害が一家にも社會にもあらはるゝとがあります。世にハ人を害ふ惡人がある故に凶器も必要なれど恒に刄をひらめかすハ宜しからぬとにて亦平和の日にハ之をひらめかすにも及ばぬが、男女の權理も是と同うして壓制あることや殘刻あることもあるから權理を論ずることもなけれバならず殊に法律上などにハ或る權理の分界を明にして婦女の寃を訴ふるに所なく空しく涙に袖をぬらしつゝ一生をすごさしむる等の事なきやうするハ肝要のことゝぞんじますれど時なく權理の鋒先のひら〳〵するハ好ましからぬことにて之がために家族の安寧も害はれ社會の秩序も亂るゝならんと思ます。相愛し相和する男女の間だ家族の中にハ權理ハなくして自然に權理が行はれて居ます。故に眞誠の幸福ハ權理論でハ得られぬとと存じます。緬甸國の如きハ婦女の權理自由を有することと東洋諸邦に比ひなく財産所有の權理男女相擇の自由などにいたりてハ歐洲の文明諸國も及ばぬ程ある由なれど餘り幸福ある人民とも思はれず又文明なる國とも言ませぬ。支那の如きハ有名なる壓制國にて婦女に對する教の酷なるとハ誰志らぬ者もなき程なれど詩經を繙きて周の文王の夫婦の間からの睦じく樂しき有樣を稱揚て詠へる關雎の篇などを見に彼れが如き壓制の國俗にも斯る美はしき和樂ありやと驚かれます。然バ世の中のとハ理屈ばかりでもゆかぬものにて理屈の外に好所がある樣に考へられます。故に女權のとも前に申しました時所位に應用させて實際の福利を生ずるやうに注意が肝要とぞんじます。併し私ハ婦人がたに注意〳〵といひて何事にも慴おそれて後退みなさるゝ事を御勸申す者でハ御坐ません。世の中にハ平坦なる途ばかりハなき故に進むべき場合にハ

危險をも冒して進まねバならず改良すべき事ハ凡常の譏を憚らず改良を企て亦之を成就するを期せねバなりません。一時の不便あるとも將來の益と見なさばろの不便ハ顧みてハ居れません。只に利益幸福の爲ばかりでハなく道義の爲に時としてハ身を苦難困厄に陷いれねバならぬとも有かもしれず。眞實に社會の改良を圖らんとせバ此等の覺悟もなければあらぬことゝぞんじます。　個樣なわけ故に昔し堅氣の老人が石橋を這て渡る如きをよしとするでハなく私の注意と申すハ一善とともに一害を持込まぬやうに、一弊を取除んとして衆善をすてざるやうに、又道理に合ふことにても之を誤用して禍ひを生ぜざるやうにせねばならぬとの謂であります。假に申して見ましようならば孔子が言ました教に『婦人伏於人是故無專制之義有三從之道』とある。此の三從などいふことハ用ゐずして可あらんと思ひますれど無專制之義といふことハ捨てハなりますまい。又『生女如鼠猶恐其彪』などの語ハ忌々しきことなれど周禮にいふ所の婦德、婦言、婦容、婦巧の四行ハ學ばねバありますまい。又『男女席を同うせず』とか『男女授受せず』とかいへる訓ハ固より笑ふべき究屈千万のことにて今の世に到底おこなはるべきにあらねど彼の女誡にいふ所の『守節整齊、行己有恥、動靜有法』これらハ守るが宜しう御坐ましよう。文明國の婦人でも其行ひ此誡に合ふのが善良の人あらんと存じます。又歐米の文明を取に付て申しましようなら衣服に住居に玩弄物に凡て其文明の外形を買んがために借財の高をまして外部の漸く文明風に出來上たる頃にハ內部ハ既に空乏して復そろ〳〵と文明風を取くづさねバあらぬ等のことありてハなりませぬ。

近頃踏舞が流行しますが文明國人のする踏舞だから踏舞ハみな宜しいとも申されませぬ。踏舞のことに付てハ歐米にても道德を重んずる人の中にハ好ましからず思ふ者もあるよしに聞ましたが私ハ踏舞を悉皆あしきものとも存ぜませぬなれど踏舞にハ種類が多くありまして其中にハ大に惡の媒介をなし甚だしく風俗を亂すものも少なからじと存ます。現今鹿鳴館などで用ゐるハスクエール、ダンス(方形の踊)ラウンド、ダンス(圓形の踊)の二種(是ハ大別の稱にて此二種の中に種々あり)のやうに承まはりましたがラウンド、ダンスの方ハ少しく杞憂なき能はず嬌風の御志ある方々ハ御遠慮あらまほしく存じます。之より下てカンカンと申すものがあり佛のパリー墺のウヰンナなどの下等社會に頗る盛んに行はれ其舞臺の高壯美麗なるも澤山にあるよしなるが之ハ恐るべき弊害ありときゝま

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

した。上の好ところ下これよりも甚しといふこともありますればバ此後蹈舞のことは民間にも段々と盛んになるならんと想はれますればバ從つて斯る類の宜からぬも入きたりましよう斷じて其輸入を防ぎたきもので御坐ます。事の序に御注意までに申しおきます。此の如く從來のことを取除くも新入ものを採用ゐるにも大に注意を要することで御坐ます。若し然ずバ或は取除くまじきを取除き或は採用ゐまじきを採用ゐ其混雜一方ならず日本將來の禍ひ思ひやられます。然バ是非とも茲に矯風會の如きものありて巧なる揖取が風波をほどよく御して舟の行べき進路を誤らず其達すべき港に達せしむるが如く日本文明の進路を誤らせざるやう盡力する者がなければバならぬと存じます。實に矯風會の必要を感じ亦その責任の重きを覺えます(喝采)。矯風會の責任斯までに重ければ之を實際に施すとも亦容易ならぬことと存じます。然るの容易ならぬ事業を容易なし遂しむるものが有ません。能その弊害を除去り衆人に實利實益を與しむるものが有ます。夫は誠に簡短なる言葉にして其意の窮りなきもので御坐ます。皆樣も豫て御存じの愛といふ一字で御坐ます愛程大切なものは御坐ません。何事にても愛が土臺となればバ必ず成就し愛が土臺になければバ縱ひ一時はなばなしく見ても大方は事ならず且眞實なる益を人に及ぼすことが出來ません。故に聖書にも『若し愛なくバ鳴銅や響く鈸の如し』ともいひ。亦『凡の學術に達するとも愛なくバ數ふるに足ず』とも『我が身を火に投る程のことを爲るとも愛なくバ益なし』とも申して有ます。愛は實に人世に必要な者で有まして瞬間も離まじきもので御坐ます。此處には未だ基督教を御信じなさらぬ方も御在なさるかも知ぬが皆然し有志の御婦人方にして今日の大切なる日本の爲にそれ〴〵御盡力なさる丶方々には違ひないと存じます。然ば矢張聖書の訓る處に御從ひなさらねバならず。若し然ずバ恐くハ其御骨折は我と人とに益なからんと存じます。社會に立て眞實に益ある働をなさんと思はゞ基督敎に從ふべきことと存じます。基督教の教に『なんぢらの行ふ所みな愛を以て行ふべし』といふ語がコリント前書十六章に見て有ますが必す如此なければ成ますまい。例ば愛は機械の油の如き者で御坐ます。如何なる精巧なる立派な機械でも油を注ゞバ圓滑に運轉いたすことが出來ません。其如く社會百般の事業も愛の油がなくては奈何とも爲べき樣が御坐ません(喝采)。親子夫婦の間にもせよ兄弟朋友の中にもせよ只權理や道理ヅくめで此愛てふ者が無りせバ如何ん。食の

味を失ふ花の匂ひなきに均しく儕もヘンなもので御坐ましよう。幸福も快樂もあるべき樣は御坐ません。一家のうち社會の上に權理も道理も活用して圓滑に調和をあたへ言べからざる幸福快樂の眞味を出す者は愛で御坐ます(喝采)。男女既に形を異にすれば上帝の賜物も亦異なる筈で有まして容姿の婀娜なる、心情の柔和なる、物に綿密なる、事に忍耐などの所は凡の男子の及べきにあらず殊に愛情の如きは尤も多量に上帝は女子に賜りたりと存じます。是みな上帝の深き思召にして之にて男子の不足を補せて社會の調和をはからせ給ことゝ存じます。然ば婦人方は此等の貴重なる賜物を活用して之に適當する働を執たまはゞ男子の企て及ぶまじき美はしき有益なる事業が成んと考られます。而して其貴重なる賜物の中にて尤も貴重なるは愛で御坐ます。先づ之を百業の基に置なさらねばなるまいと思ます(喝采)。各位も定めし御存で御坐ましよう彼の有名なる婦人ナイテンゲールが大なる慈善の事業を數多く起して社會に幸福を予ましたは其學問で御坐ましようか其智識で御坐ましようか。然るものではなく愛の一で御坐ります。愛の勢力が彼に學問もさせたで御坐ましよう知識をも予たて御坐りましよう。それ彼の婦人が慈善の志を懷きて哀れなる人を助くることに生涯力を盡さんと心に誓しは未だ年ゆかぬ頃でありました。其愛が百善の事業の基となり又事業を成すの智慧をも能力をも予たとで御座ます。又前に小説にて名を廣うせしハンナモール女も學術智識を世に衒ひし頃は敢て社會に益をなさゞりしが後基督教を信じ愛心の勃然と起るや立刻ろの愛は溢れて哀れなる下等社會に注射し其悲しむべき慘狀を一變して之に幸福をあたへ遂に英國一般にも利益を及ぼせしこと少からず。然ば是亦愛の力なること明々白々で御座ます(喝采)聖書の言ところ人を欺かざることが知れましよう。若し婦人方が聖書の敎にしたがひて愛を以て行ひ給はゞ乃ち我が日本にもナイテンゲールハンナモールと同じ慈善の大業が出來りましよう。然ば婦人方に光榮の加るは無論のことにて婦人一般の位置も高なり之を尊敬するの念おこすまじとするも起さでおられましようか(喝采)かのナイテンゲール女ハンナモール女の働の如きは殊別なる愛をもてる婦人の長所にして男子の爲し得ざる所と存じます(以下次號)

"*She is a ministering Angel in these hospitals; and, as her slender form glides quietly along each corridor, every poor fellow's face softens with gratitude at the sight of her.*"

"*Times.*"

○男女相擇ぶの說（五）

西村茂樹

右ハ禮儀ある家の婿婦を擇ぶの通法なり坐中の諸君の既に夫妻ある者は大抵此法を以て選擇したる者ならん知らず諸君の夫婦たるハ父母の壓制を以て己むことを得す夫妻と爲り常に不快の感を抱き居るか余ハ決して其然らざるを知るなり然らハ論者が痛く從前の夫婦選擇法を謗るハ全く西說に眩せられて適實ならざるの言を發したるを知るなり

是より以下自由選擇の狀態を言ふべし前にも言たるが如く本邦の自由選擇ハ大抵禮儀なきの種族に行ハるゝ者なり禮儀ある家にも行ハれざるにハ非ざれども今ハ其多き者に從ひ禮儀なき家に付きて之を言ふべし禮儀なき家ハ必しも貧賤に限らず縱ひ富家なりとも亦禮儀なきの家多きハ衆人の知る所なり此の如き家に生れたる男女ハ年既に長ずれば共に遊蕩を事とし絕て道德の何物たるを知らざる者多ければ男子の自ら擇ぶ所ハ或ハ妓女又ハ其他の賤業を營む所の婦人か然らざれハ其私通せる近隣の女子に在り女子の擇ぶ所ハ或ハ俳優或ハ遊藝を事とする者然らざれば其私通する所の近隣の男子に在り此の如き選擇を以て夫婦と爲る者ハ其初めハ男女深く相愛すと雖とも忽ち厭倦の情を生し殊に此の如き男女の擇ぶ所ハ常に容色に在るを以て容色既に衰ふる時ハ厭倦の情滋甚しく且つ我と私通する者ハ亦他人とも私通する者なれば是等の事あるよりして夫婦の間に甚しき嫉妬を起し大抵ハ中途にして離緣し其終を全ふする者ハ甚少なし又妓女等を以て婦とする者ハ殊に家事を治むるの能なきを以て中道にして離緣するハ却て其家の幸なるが如し又私通を以て夫妻となりたる者或ハ其一方（殊に婦人）中悔いて離緣を乞ふ時ハ其夫嫉妬の餘之を殺傷する者多し要するに本邦にて自由の婚嫁ハ（禮儀なき家にて）大抵正を以て合ハざる者なれバ正を以て終ると能ハざるハ亦理の當然なり又此の如き不正者に非ずして正道を以て男女相擇ぶ者も少なからず然とも此時男女年猶少くして共に世事に經歷せず故に其擇ぶ所輙もすれバ其要を失ひ善なりとする者善に非ずして惡なりとする者惡ならざるとあり且つ少年の男女相擇ぶハ多くハ其容貌に在りて其性質德義に非ず男女容貌の美なるハ暫時の事にして性質德義ハ生涯の事なり容貌の美なる時ハ短くして夫婦たるの時ハ長し容貌に依りて擇ぶ時ハ容貌美を失へバ共に厭倦を生すべし然れハ永き歲月ハ厭倦を以て之を過すなり是決して夫婦の幸福に非ざるなり且つ男女年若き時ハ互に其性質の善處のみ見えて其惡處ハ見えざるなり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

男子ハ常に親切なるが如く見えて女子ハ常に從順なるが如く見ゆるなり然れども既に夫婦となりて年月を經る間にハ親切と見ゆる者或ハ薄情を現ハし從順なる者或ハ驕忓を現ハすとあり要するに男女少年の時の選擇ハ唯目前を見て永遠を知ると能ハず其父母が多年の經驗を以て之を見るの明あるに如かざるなり今余が言ふ所の禮儀なき家の自由選擇の狀態ハ如何諸君自身の經驗ハなしと雖ども亦余が言の事實に違ハざるを知るならん(未完)

○ノックス夫人演說(女子敎育說)筆記　(三)

偖て日本にては近頃婦女子の敎育が特の外進歩いたして居りますればパ此際敎育の爲に如何なる出來果を受ると が出來るかと云ふを人に示しまするは此學校にお出のアナタ方や又た餘所外の女學校にお出の方々の務めでありませう。されバアナタ方は今丁度一汎の評判を作らるゝ所であります。實に近年の此の變化の間に日本が何如やう相成るべきやとて數多の信者も又た敎育ある人々も總じて掛念して注意いたして居ります。然るに斯る變化があるにつけ又た此國の內部の組織を行ふにつけいづれにしても女の方々の義務が新に加つて參りました。夫れ故又新規の敎育を受るとがアナタ方に必要となりまするより此番町の學校の樣なる善い女學校が多く建ました。外國の貴女方はアナタ方に外國の言葉や風俗やまた神の子たる人の敎などをお敎申さんとて家を棄て友達に離れて此所に參られました。

然し此の進歩する御國に於て女の爲に新なる高き位地を供へられたるをお受取なさるゝには只た外國の衣物を着外國の風俗を取り外國の仕方を學ぶのみにては足りません。女の爲に高き地位を供へたる男の方々にとりては之よりも尙ほ外の事をアナタ方に對して要さるゝでありませう。卽ちアナタ方はよく注意して修練し此尊敬と位地とを受るに足る程に心や身を敎育せねバなりません。かの人形と云ふものハ美しひ衣物を着せて高い所に置てチケば大層立派に見ゆるものでありますが、そのやうなるチモチヤが愛敬信用をうくると云ふとハ決してありません。

眞事の尊敬と云ふものは眞事の價直が無ければ得られぬもので御ざいます。人の全性則はち躰や心や情などの敎育の結果によるとてあります。

愛され樣と云ふには愛すべきものでなければならず尊敬されやうと云ふには高尙の人とゝなりでなければなりません尊

望あり勢力ある地位を婦人が滯りなうしめおゝせやうと云ふにはまづ左樣な地位を占て占ばえのするやうになつて居らねばなりません左樣なれば催促せずとも自然に高尚な性質と學識ある處にはついてまはる尊敬と信用とを得るで御ざりましよう。

アナタ方の中には此の基督教主義の學校を出て教員とお爲りなさる方が御座りませう。若しアナタ方に十分の資格が備つて居りまするならば必らず結構な感化力を人に及ぼしなさるで御座りませう。他に能く教へやうと思ひますれば先づ自分で能く調らべて置かねばならぬ己が知らぬとは教へられません。左樣にお考へなさつたら今ま十分なる機會と手立のある間に得らるゝ丈の知識を得やうと益々奮發なさる筈で御座ります。目的は高くれ立てなさい而してお出あひなさる困難に進みを妨けられてはなりません。一つの妨に打勝つ度に自分の能力も強まり未來に事業を成し遂ぐる忍耐も養へて參ります。完全なる基督教主義の教育は得て尊といもので御座ります而して書生の心盡しも困難も決して仇にはなりません。之は金銀寶石よりも遙か尊とく永く保つて喜あり。命のある限り殘つてあつて決して人の奪ひ去べきものでは御座りません。皇后宮が學文を好ませらるゝはアナタ方の善い鑑で定めし皇國一汎の婦女子が修學することを望ませらるゝ御事と存ぜられます。私の承はつた所では皇后樣は日々御勉強あそばすのみならず華族女學校へ毎月行啓あそばして大層之を御贊成あそばずそうで御座います。（未完）

● 叢話

本號には餘白なきに付止を得ず本欄内の料を省く

● 佳傳

○天文學者ハーシエル女の傳

有名の天文學者ハーシエルに一人の妹あり。ルクレシア、ハーシエルと云ふつね〴〵兄が天文の測量なす傍に侍りて何くれとなう介抱したり或は之が爲に器械の用意を爲し又は測り得たる天の景色を畫き若くは夜々の實驗を記錄などして終夜もろともに事に從ひ常に曉に徹したり其がうちにも兄が用ありて實測なしがたき折は自ら代りて之を量り又た兄の爲に爲べき事のあらざる時は其身も亦た遠鏡の下に伏て獨り密かに測量せり然れば兄のハーシエルがその助を得て數多の發見を爲

したる外に其身も亦た人の知らざる惑星を見出し又た太陰儀と云るを工夫して月世界の模樣を示し或は五百六十一星錄、大英星錄實測案內等云ふ書を著し後に至りてヅーンカタロギウと云ふ有名の星帶錄を著したれバ倫敦の天文學會ハ之に金牌を贈り又その會の名譽會員と爲したり時の王ジョージ三世も同女が兄を助くるの功少からざるを賞し若干の給料を賜ふの特旨を下されしかど數多の優待を受けたり斯てハーシエル死去したる後ハ其子を敎育して之をしも有名の天文學者となし又自らも測量を廢せず且つ學者等と交際して老年健こやかに九十七回の誕生日をも祝する比に會せり此折ハノバ王ハ使を遣して賀詞を賜ハり英太子と皇妃ハ自ら其家に望みて祝儀を擧げらる特に皇妃ハ手づから繼とりたる椅子を賜ハりプロシヤの王ハ學術擴張に功あるものとして金牌を贈られたり女子にして斯る榮譽を蒙ると類稀れなる喜びと云ふべし斯て其翌る年に當る千八百四十八年の一月九日よ至り最と平安の樣して遂に永逝したりける

"*She it was who, having passed the nights near the telescope, took the rough manuscripts to her cottage at the dawn of day, and produced a fair copy of the night's work on the ensuing morning; she it was who planned the labor of each succeeding night, who reduced every observation, made every calcuration, and kept everything in order; She it was—miss Caroline Herschel—who helped our Astronomer to gather an imperishable name.*"

"*Women of Worth*"

○マルガレットの遺書

アルレンスの夫人マルガレット(千七百五十二年生 千七百八十八年死)は智德ともに衆に優れたる婦なりけるが三十三歲の時アルレンス氏の妻となり夫妻の交情誠に美はしく良人も妻も樂しき月日を送りけり月光さやかなれば浮雲之を遮らんとすマルガレットは良人を助け良人を慰め勵ますこと五年忽ち病に罹りて物故にき己れの死したるのち良人を慰めんとて預て左の一書を認め置きたり其の愛の切なる其交情の清潔なる其の望の遠大なる讀者をして感泣せしむるに堪へたりとす

はじめは假初の病患とのみ思ひ候ひしが最早終焉に程無きことゝなりぬ顧みれば君に侍き申せしより五年の星霜を樂しく送り世に二人とは見出し難き最も優れたる良人を得侍りたれば死別の情更に哀しく覺え候日來信ずる宗敎のこれなく候へば迚も君に別るゝことは得なるまじきが彼のモーセと羔の歌をもろともに讃へ唱ふ時は必らず來ることゝ信じ申し候

妾ともかくもなり候はゞ君が心中思ひ遣られ候嗚呼妾が君と相携へて歡喜せる日已に暮にけり死を哀しむ夫や子供等の容貌及び吾が遺體を呑まんとする無情の墳墓なと目に見

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

ゆる如くにて候此は甚だ悲しきことに候へども信仰に基ける望みに由りて軟弱心にも平和を懐き申候君の愛を辱ふせる妾は死するに非ず眠るのみ吾が遺骸を冷かなる土の中に納め給ふとき靈魂は已に神の右傍に流る丶清き河邊に立ちて歌ふめり吾夫の君よ願ふは此を思ひ出に涙を拭ひ給へや世に遺こす子供等のこと心に懸り侍り彼等が高位高官に昇り大名を得ること敢て望ましからず候えどもあはれ善人となるやう祈り申候吾夫の君よ妾の如く死して神のまへに行き給ふの日必らず來るべければ願ふは丈夫の猛き心を振り起し世の務を勵み人の助けとなり神の榮光を顯はし給へかし善人には死なし死は勝に呑る丶と申す本文も見え候

かねて知り給ふ如く良人より先きに死するが妾の志にて候万一君に後れて御遺骸を見るに至りしならば悲しき如何ばかりありけん此を平生案じ候ひしに終に此身の遺骸を君に委せ奉る誠にかしこき天父の謀なるかな涙と丶もに感謝致し候

吾夫の君よ願ふは壯健にして百年の齡を保ち此の愛らしき子供等の行末を助けて善良の道に至らしめ給へ若し靈魂の肉躰を離れしのち現世の事を與かり知ることを得ば妾は第一の務として君が影身にそひて危うきを告げ難を助け又君が涙を拭ひ君が信仰を勵まして死別の憂を慰むべし死者必す靈あり死してのち現世の事を知らすと云ふ道理あるまじと存じ候

君は吾が最も愛する朋友なり君の懷は妾が憂を解き妾が千〻の思を慰むる所なりき五年が間のおん惠み謝する語も無之有り難く覺へ候書き遺すへき事も思も山の如く候へども思ふに任せず吾夫の君よ全能なる神の佑けを受け給へ嗚呼天父よ母なきの子供等を憐み給へ遭ひ見て復び別る丶ことなき日まで暫し別れを告ぐるなかしこ　マルガレツト

● 寄書

○結婚齡の制限を論ず　附早婚の弊を矯正するの策（二）

以上論したる如く法律に頼りて早婚の弊害を矯正せんとするれ不得策の甚たしきものにして余輩の取らさる所なりさりなから余輩とても他に良策ありと云ふにあらすして若し人の問ふあらは余輩は甚た其答に苦まさるを得すと雖とも余輩密かに惟ふに彼の早婚の風私通の俗の原因する所は畢竟人民の道德心の鞏固ならさるに在り見よ私通の盛ま行はる丶は田舎下

等社會にありて都會上流の社會には其跡殆んと之れなきを是れを以て證すべきあり故に今日早婚の弊害を矯正せんとせハ人民の道德心を鞏固ならしむるの確實なるに如かす是急速の功を奏すべき策にあらずといへとも急速を望んて弊害を生せんよりハ寧ろ緩慢にして功を奏するの全きを計るに若かさるなり

然り而して倘ほ最後に起る所の問題ハ國民の道德心を鞏固ならしむるの方法如何と云ふ是なり是れ亦た頗る重大なる問題にして一朝一夕の論し盡すへきにあらすと雖とも余輩ハ其確實なる方法の一ありとして明言し得へきものあり何そや外ならす教育の普及と宗教心を盛ならしむる是なり教育普及の點ハ余輩之れを論するを俟たす宗教心を盛ならしむるの方法に至てハ余輩聊か思ふ所あきに非すといへとも姑らく默して讀者諸氏の一考を煩はさんと欲す

以上論述したる所を要するに結婚齡の制限ハ到底早婚の弊害を矯正するに足らさるのみならす却て弊害を生ぜしむるものにして之を矯正するの策ハ國民の道德心を鞏固ならしむるに若かすといふに在り讀者諸氏以て如何となす時弊に感あり終に此論を草す

上林敬二郎

○我束髮會の姉妹に望む

和崎義路

回顧すれハ去る明治十八年の夏頃余輩二三の有志者と相計り婦人束髮會を起すや世の先見無き頑愚輩ハ種々の妄說を唱へ是を誹謗し是れが改良の進路を妨害せんとせしも幸にして姉妹諸君の堪忍と社會の進步とに由り爾來愈々贊成者の多き中にも昨年秋の頃よりして今年に至りてハ我東京府下を始め各地方に於ても少しく先見有る否苟も便利爽快を好むの姉妹ハ何れも束髮に改良せらるゝの風有るハ既に十目の視る處にして今更辨論を要せざるあり然るに頃日束髮に就き屢々書を寄せて質問せらるゝの人有るを以て左に二三を揭げて贊成諸君の注意を請んとす

第一○束髮の主意は便利衛生を主眼とし幷せて無益の費用を省かんとするに有り故に不得止の場合（例へば幼年にして自から爲しあたわざる者或は夜會結髮を要する者の如き非常の手）の外は可成自から束ね勉めて他人の手を煩さゞる樣心懸べし

第二○束髮ハ單に經濟を主とする者の如くに考へ往々二三日間も其儘に爲し置き其上相當の裝飾をも爲さゞる者の有るハ甚しき誤あり故に必ず每朝清く爽かに自から束ね年齡身分に應したる淡清の裝飾をあすを宜しとす

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

第三。洗髪ハ我會の主意なれとも餘り毛髪の枯燥するときハ時々適宜に單純淡淸の香油を用へし

第四。徒に束髪の大ならんを欲し猥に髢を用ゆるハ宜しからず故に甚しく頭髪の少なき人を除くの外ハ可成自分髪にて束ぬへし

第五。束髪の方法形狀等を知らんと欲せハ豫め髢或ハ他人の頭髪に就き練習すへし

第六。前髪を切るの風ハ近來歐洲にてハ餘り流行せざるやに聞けとも我國今日の如く未だ一般に帽を頂くの塲合に進まざる人々にハ反て前髪を切るハ釣合宜しき哉に考ふ然れとも是ハ各人の好と年齢幷に身躰の有樣とにより斟酌すべし

第七。近頃人々の用ゆる網ハ毛髪の散亂を防くの益あるの旁ら裝飾の一部ともあらんか倘此の事ハ取調の上報ぜん

其他束髪の事に就てハ歐洲留學中の友人渡邊昇氏より委しく通信すへき筈に就き新報を得ハ直に本誌上に掲て報道すへし

○東京婦人矯風會の會員愛姉に告く

會員　佐々木豊壽女

近年婦人に關する議論世間に喧しく相成ましたが就中昨年萬國婦人禁酒會書記リビット夫人我日本に渡來して演說を爲されてより一層の勢力を加へて昨暮より今年へ向て一雨毎に婦人何會と申者增加せり全國を合算するならは餘程の數に至りしなるべし

併し此は一時の流行物なるや又は永續すべきものなるや或は忽ち消滅するものなるやは姑く置て先つ大躰より觀察を下せば文明の進步を助け婦人の氣象精神と身體とを强くするには適當なるべしと思ひますされは婦人の何會と云ふものハ宜しきものには相違なき事に存ます

我此婦人矯風會は昨冬より愛姉諸君の組立る所にして彼リビット夫人のクリスチヤン、テンペランスに基つきて酒烟を禁するは勿論其他一身の不品行及諸の惡風俗を矯正する事にして我國今日の所では其箇條は十や廿では算ひ盡ぬ程ありましよふ此惡風俗惡風習を矯正せんが爲に諸君と協力する處の會なれバ婦人矯風會は尤も今日に在て大切中の大切なる會と諸君及私も固く信します

又婦人矯風會にて盡力する人も婦人にして之を身に行ふ人も婦人なれども風俗の矯正と云ふことは婦人に限りては到底何事も益に立ぬ事と存ます例へバ一家の婦人は禁酒するとも其夫暴飲あらば之を見習子供を如何にして制止せんや小供は菓子種の如く父母は菓子形の如し丸き形には丸き菓子角な形には角な菓子を打出すとであります

且又此等の善事善行を會員の外幾人にても多くの人々に聞かせ度事て有ます婦人は勿論男子にても充分に此主意を能く了解させて社會の惡風習を改良させ度事なれバ畢竟傍聽者は十人より廿人百人よりは千人と云ふ如く多き程此會の利益は世に現れる事て有ましよふ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

左れば男子の方にも矯風會あり又婦人の方にも婦人矯風會の在は車の兩輪の如くにして社會一般の悪風習を洗ふには當今必要の器械なる事と存ます夫故に吾愛する姉妹は本會設立已來風雪を浸し寒雨をも厭ひ給はす番町の坂や榎木坂の惡路をも物の數とせず毎も集會成さるは實に感謝致ます所です

附ては諸君へ願度事は諸君の御感辭を集會の時充分ょ御演説被下度と申事です何事に因らす自分の事は自分に成ざれバ成効せぬ事は彼の御存知の麥刈農夫が雲雀の喩の通り毎も人ょ賴むうちは何事も成らぬ物なれバ上手下手は一向に頓着せす諸君の感想を演られて一日も早く善良の風俗に矯正あらん事を希望致ます併し此會を婦人丈にて演説を成すと限らず有名の男子先生方を聘して演説を依賴し傍聽するも固よりよろしいが併し會員の婦人方は本會の主人氣取て奮て互の思想をも演て伏藏なく打解て御話を演へ被下度事と存ます是は男子の會に非すして婦人矯風會と申て婦人の會て有ゆへに左様に存ます

演説を成せは婦人の美德を害すから何ぶん沈默せよ沈默せば傍より愚と笑るゝ事はなきぞ（口あけは五臟の見ゆるあけびかな）などゝ大層大先生らしく成し居るも昔の世ならば宜しいが今の世の中は國内同志だけでなく萬國の人も入り來る世がらなれば餘り悪風俗は早く止めて貰はなけれバ御同様吾々の肩も狹くて困ります婦人の名の付た會にて眞に婦人の自ら爲居るは舞蹈音樂裁縫の三種たけと思ひます婦人か演説を成して善か悪かの問題に至ては昨年りピット婦人の演説にありました由なれは別に私は申述ません又此の婦人矯風會が毎も男子先生を依賴せねバ誰も發言せぬよふの事にては此會を導彼男子の矯風會へ賴むか又は學士會員の老先生方へ依賴して婦人に屬する演説を成して貰ふ方よろしと思ます否々幾百年の久しき男子擅制の風俗に甘したる人々は如何に敏捷の才量ありと雖も矢はり支那日本に行れ來れる壓制主義を差覺きて婦人百般の迷惑を一々考へて劇かに婦人の苦情を能くさとり知るの理は萬々なき事と存ます

左れば婦人の痛みは婦人より演されは男子ハ之を知るに由なく又婦人の迷惑は婦人より演されバ男子は之を知る由は有ますまい近く譬て申さは最早向島の櫻の時節にも成ますが櫻の節などの事を御覽なさへ婦人連なとが堤上を歩みますれハ幾人も大醉の荒くれ男子どもが片手に酒樽を携げ片手は裸ぬきて途上に立ふさかりて婦人の通行を妨け又は肩などを捕へて嘲けり笑ひ又は諸種過言を申まするが（野蠻の極度と明らめ居られませうか）此如き事ハ我々婦人に於ては實に形容す可らざる迷惑にして往來ょ於て此如きの無禮を成すは身の毛もよ立程に恐ろしく思ひて一年一度の花見も快ろよく見られぬ不幸の事てありますなんと皆様此事に附て男子先生方の喧しき建議建白でもありますか論文でもありますか私などは未だ見ません男子かたの氣の附ぬ事なから婦人に於ては道路に辱しめを受るに均し昔大抵の迷惑ところの事ては有ません已に昨年の花見などにも大醉の男供か手つなきを爲して年頃の少婦の通行を妨け又は肩に倚すかりなとして婦人の赤面し通るを面白そうに手たゝきして高笑するも相應に見ましたが昨年の新聞紙にも此無禮を戒めたる事も見ません先づ是は男子の

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

心附ずして婦人の迷惑する百分一の事ですが此の如き事共澤山有ます故に婦人は婦人の迷惑なる事や惡風俗を矯正する事に附ては充分に演説あらん事を希望致ますどうしても婦人の事ハ婦人が訴へ出さねは成ません決して私共が喋々を好む譯ては有ません實に已を得ずして會員に訴へ出して世上の輿論に評決を希はねバ成ません事共が澤山に有ませ

○和歌五首　　大和三輪村　今西民子

男女くらひの異らざると云ふを題にて

右ひだりまさりおとりのへだてなし操はおなじたけくまの松

八十路の春をむかへて

うら安くのぼる八十ちの老の坂御代のひかりに導びかれつゝ

老松

ふた葉よりかはらぬ國に生たちておほ老松のくちもはてせじ

池水波靜

自から波靜なり治まれる世はあらはしのいけの面かな

寄琴戀

心なき松の風だにかよいきて琴のしらべにあるときゝしを

○題那須宗高射扇眼圖　　但馬豐岡　香雪女史

馬嘶屋嶋浦頭風。東國男兒意氣雄。可恨行宮春已盡。如花紅扇落洋中。

● 新報

○高等女學校講演　高等女學校に於て毎水曜日に開かるゝ講演の第三回は穗積氏にて女子躰育の説あり第四回は矢田部氏にて仕來の説ありし由。先づ穗積氏講演の大畧は

躰育は男女ともに必要の事なれども男子には角力など云ふ遊もする程なれバ今之が必要を特に深く感ずるハ女子なり先づ新橋の停車塲にても行て西洋婦人と日本の女とを較べて見るべし身躰の格好甚しく相違するを見ん之を何故と云ふに即ち衣食住の三つの者彼に及ばざるゆへ也。然し此三の中にて尤も大切なるは食物なり日本の女は兎角大食するとを愧づるとあるが之は以ての外の心得違にて何でも多く食して躰を肥らすが肝腎である又啻に多く食べるのみならず善い食物を食べねバならぬ動物の中にて例を取り見るに牛のやうなる草を多く食ふものは胃袋や躰が大きいが甚だ不活潑である馬は豆や麥を食するから活潑である上野の動物園へ行て色々の畜を見ても先づ肉食する虎は強いが草食する羊は甚だ弱い人も亦此樣であつて肉食を爲さねバ躰が強くはなれません。君等は特に勉強盛りで頭を遣ふとも烈しい夫ゆへ尚ほ〳〵食物をよくし躰を大切にしなければな

らむ云々

大畧右の如くなりしとて某女より報道せらる

○洋服に對する外人の説　近來婦人社會に洋服論隆んに行れて其風驚べき勢もて流行することあるが吾人は五十三號に於て少か自説を述べ甚だ之を冷淡に取扱ひたればゞ往々彼此との評を寄せらるゝ多き中に此頃或る外人の申されたるは近來の此の女服改良に對しては外人社會は大抵不同意を表せざるなし既に英米に於てハ女服の窮屈にして不都合なるを感じ何如をもして之を改めんと盡力するもの多けれども何分多年の間に成りたる風習のことなれば容易に實行しがたく内々は我も人も困却し居るのみか遠き倫敦にて近比日本の女服を殊の外に便利ありとし貴女社會の流行物のやうにして之を用ゆることゝなれる由は言はずもあれ近く横濱築地邊に住居する西洋婦人は何れも夙くより斯る經驗を試み家内にある際は多く日本の女服を用ゆるの有樣なるに今乍ち此の便利あるを棄てゝ彼の窮屈不便なりと人々の言ひはやす女洋服を用ひんとするは甚だ解しがたきことなり夫も日本の女服が見榮の劣ることにてもあらバ兎も角外人たる吾々より見れば恰好優雅にして申分なく甚だよく當國の女流に適すると思はるゝを今唯た棄て去らんとさるゝは何事ぞかのやんごとなき貴婦人と申さるゝが時節相應の色合容貌匹適の摸樣をも見分けられず甚しきは場所柄にも似合しからぬ非禮の服裝を着玉ふのみか子供の用ゆべき帽子を頂きて下を内足にして歩まるゝ奇なる風に比べては當國固有の服裝の何如程にか宜しからんにと太く歎息の摸樣ありき

○改良洋服裁縫教授所　東京婦人矯風會員佐々木豊壽女は近頃婦人洋服の風にはかに流行するに際し若し倫敦パリなどに行はるゝ華美の裝を手本にとりて只だ外形を飾るとのみの主義に奔りもせば切角に便利を基として洋服に改めんと云ふ精神をも失ふに至り服裝改良の利は反つて之が爲に起る數多の弊害に打破らるべしと掛念ありて此度品川町の自宅に裁縫教授場を開き專ら便利單裝を主意とする婦人洋服の仕立方を教授し追ては從來の洋服に改良を加るの法をも工夫さるゝと云ふ因りて内野吉平氏を教員に雇ひ入れ生徒の日々通學するものは半年にて卒業し隔日に通學するは一年にて學び了る程となさるゝときく時弊に必要なる盡力と云ふべし

○日本の婦人服　英京倫敦の婦人中には此頃我國婦人の衣服大いに流行し殊に室内にある時は起臥の用に適せりとて貴夫人は競ひて着用するより同地の起立工商會社支店へ注文する

者夥しきとの由

○洋服の流行　ハ昨今日の出の勢ひにて白木の洋服店大倉の裁縫店杯ハ此頃男子の服よりも女子の洋服の注文を受くる方多しと云ふ又既に柳原の古洋服店にも婦女の洋服が釣下りたるを見たり

○女生徒の遊戯　華族女學校の生徒ハ明二十日內藤新宿植物御苑の拜觀を許され同所にて種々の遊戯をなすよし

○慈善會員の集會　山縣大臣、大山大臣、華族戸田氏共氏、同前田利嗣氏、高崎府知事等の夫人を始め其他貴夫人十數名、高木海軍軍醫總監、長崎宮內書記官等ハ去る十四日午後五時より鹿鳴館に於て第三回婦人慈善會の開場幷びに舞踏會の事に付き會議を開かれたり

○三條內府の夫人　同夫人にハ去る十五日の夕刻より伊藤、大山、鍋嶋其他華族の各夫人數名を招き茶話會を開かれたり

○夫人携帶の懇親會　今度地方官諮問會のため上京せられたる各府縣知事にハ孰れも申合されたる如く夫人を携帶せられたれば或知事にハ此際夫人携帶の懇親會を開かんと目下頻りに周旋中ありとか聞く

○幼稚園　芝公園の幼稚園ハ追々盛大に至り目下來園の生徒にハ岩倉具經君の令息、黒田內閣顧問の令孃、榎本遞信大臣の令息また華族にハ米津、柳澤、片桐、稻葉、水野、毛利、黒田、松平等の令息令孃等其他百十餘名にて尚ほ增加の摸樣あり教場の狹隘を覺ゆるより今度一棟の家屋を增築する由

○女學校新設の計畫　築地十三番海岸女學校にてハ此回神田猿樂町に一の別校を新設せんと計畫中のよしに聞く

○婦人の乘馬　大坂にてハ此頃婦人社會に乘馬流行の兆ありて府下西成郡難波村の借馬渡世伊勢霜方へ朝早くか又ハ黃昏前の餘り乘客の居らぬ頃を見計ひ婦人の客が必らず毎日二三名づゝハ來る由なれども同家ハ未だ婦人鞍の用意なきゆゑ止を得ず謝絕して歸せし人數ハ已に百餘名の多きに及びしにぞ今度婦人靴數箇を買入れ婦人の乘馬傳習を始めんと目下頻りに準備の最中なりと又福岡縣福岡にてハ來る廿九日催ほす筈なる共同乘馬會社の春季競馬にハ騎者の內に同縣早良郡山門村靑木新五郎氏の娘ヤス子と云ふ當年十三歲の少女が出場する筈なりとの事

○東京女子專門學校　同校にてハ有志の生徒打集り遊歩時間に躰操、擊劍、及び柔術等を催す由にて同校木村松子ハ面、小手及道具を寄附し渡邊英子ハ竹刀を寄附せしが其率先者ハ木

村秀子、同姓ならゑ、本多藤子、柳澤恒子、同甲子、金子元子等の諸子にて敎員は木村松子、鈴木金子、木村秀子、山內君子なり

○京都婦人慈善會　京都有志者の發企にて今度婦人慈善會を設立せんと去る五日午後二時より京都倶樂部に會し其設立方法を協議せり同會の創立委員總代は尾越、谷口の兩書記官にして參集せし婦人四十三名(內五六名洋裝)又代理として來りたる男子七十六名北垣府知事が臨時會長に尾越書記官が副會長となり先づ北垣會長より本會を起すの主旨幷びに　皇后宮陛下の女服改良に付ての　令旨を述べられ夫れより設立主意書を議して之を可決し會長は伊藤伯爵婦人を推薦し副會長は北垣夫人を撰擧し別に婦人中より幹事を撰ふとは之を後會に讓り本會規則の起草委員を今立吐醉、八代規、坪井仙次郎、安藤精軒、古川太四郎の五氏に。庶務掛を鮫島盛、西村七三郎の兩氏に會計掛を貞廣太郎、內貴甚三郎、中村榮助の三氏に托することとし規則決定等は來月二日第一土曜日に議する筈にて同四時三十分一同退散せり

○京都婦人會　前號に豫記せし如く同會は去る五日午後七時より京都倶樂部に於て委員會を開き起草委員より提出せし約束書に就き曩に來會せし發起人と共に再談し一二修正を加へ次て役員撰擧の事に及び追て同會成立の上は婦人より役員を撰定する筈なるも獨り庶務、會計の如きは婦人の任に堪へ難ければとて當分之を吉田秀穀、山田正一の兩氏ゑ托し更に來る廿六日の土曜日を卜して京都高等女學校を借受け其第一會を開く事に議決したるが此發企人は三十名にて起草委員は今立吐醉、古川太四郎、三吉艾、西田由、武田丈治の五氏なりと且同會は前項に記載せる婦人慈善會と合併するや否やの議もある由なれど此邊は未だ確定せずと云ふ

○卒業證書授與式　京都府高等女學校にては去る七日午前八時學期卒業證書授與式を執行し八代學務課長も臨場して吉田校長より證書幷びに賞品(英書)を授與し次で學務課長の告辭校長の演説、生徒惣代間島スワ子の謝辭及び有志生徒宮崎タソ子の祝辭等ありたり當日卒業の人員は普通學科七十二人、裁縫科八十八人、綴織科二人、レース科十四人、受賞者十五人、なり右一旦畢つて更に午前十時より尾越書記官臨掬全科卒業證書の授與式を行ひ同書記官の告辭、校長の演説、卒業生總代西島捨鍋女の謝辭、敎員寺田省氏、有志生徒土肥原小松、井上リウ二子の祝辭(英文)ありて式を了れり卒業せし人員は普通

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

學科二人、裁縫科三人、綴織科三人、レース科四人、受賞者五人なりし尙今回は吉田校長より殊更に在京都の同校卒業生五十餘名及び尾越夫人、谷口夫人、北垣令孃、西洞院夫人等を招かれ洋裝の婦人二十名(內客員三名、敎員三名、生徒十一名、舊卒業生三名)ありて中〻盛んなりしと云ふ

因に云ふ當日來會せし舊卒業生は爾後每月同窓會を開き婦人にして万事に付き時世に後れざる樣研究せんと已に委員五名を撰定せしと

又同校生徒の現在數は裁縫科百八十四人、普通科百六十二人、綴織科三人、縫繡科六人、レース科二十一人、合計三百七十六人なり　(去る九日發の京都通信)

○大坂基督敎婦人會　の催しにて青年會館に於て女風改良演說會を開き辨士はヘール、本間重慶、宮川經輝の三氏にて聽衆は婦人のみにて無慮千有餘名ありしと

○大坂通信(去十二日發)　府下各幼稚園の保姆は中の島女學校にて敎科の傳習中なりしが已に唱歌は此程卒業せしにより二三日前より今度新たに調製したる大形胡弓の傳習を始めしよし又同校にては一昨日臨時入學試驗ありしが受驗者は十五名にて及第せし者十名ありしと○第三高等中學校御雇敎師ヒツチヤツク氏は同夫人と共に此程北區小學校高等科生徒容儀敎師馬塲幾子氏の宅へ赴かれ我國婦人の客儀式を見んことを請はれたるに同子は生徒三十五名をして各々盛服を裝はせ最初生花を挿し夫より炭手前、薄茶手前杯をなし終りて地歌三曲を調べ又舞をも演したるに兩氏は其溫雅にして且優美なるを喜び居りしが去る九日再び來りて生花其他の茶器類を寫眞に取りて持歸られたり○當控訴院當博物塲長を始め望月允武森貞次、英人エドモンズ氏の五氏が發起に係る平野町一丁目の婦人學習會は去る七日開塲せしに以來入會者非常に多く目下會員六十七名に及び敎塲稍々狹隘を告ることとなりしが當時東上中の建野府知事が歸坂次第會議を開きて同會の擴張を謀る筈にて更に一大家屋を建築する見込なりと又同會の敎授時間は當分午前九時より午後四時迄にして敎科は英語會話、西洋女禮式、音學、飲食調理法、裁縫、編物等あり敎員は米人グードリッチ、英人ペイジ、同ラコン、同カスハーリーイ、同ダム同エビントン、同ポール等の諸氏にて尙今度高島中將、兒島控訴院長其他諸氏の盡力にて英國より良敎師二名を招聘さるゝ都合なり云々

○上州桐生英學校女子科　同校は同地の高山玄祐氏の創立に係るものなるが左の學科を敎授せらる

第一英學初步　第二和漢學初步　第三女子用文章　第四育兒法幷に家內衛生　第五家事經濟　第六簿記算術　第七脩身學　第八裁縫禮法唱歌等あり

○私立裁縫專門學校　を設立せんとて宮城縣實澤にて大內坂下高橋伊藤赤間菊池あんと云諸氏發企し同志者百五十餘名を得て其筋へ出願せしやに聞く

○婦人同伴會　山形縣羽前國西村山郡各地驛の有志者堀米實、細谷治右衛門、田宮五郎、淺黃善吉等の諸氏ハ去る五日同驛阿部廣吉方にて有志婦人同伴會あるものを催せしが贊成會同せし者男女二十五六名餘にて堀米氏ハ此會を起したるの主旨を述べ夫より樣々の談笑歡話ありて目出度退散したりと云ふと去る八日山形發の通信に見ゆ

○岡山縣久世村の女風　同村は作州西部の都會と稱せらるゝ地あり而して同地は煙草製造の盛ある處より中等以下の婦人は大抵之が職工たり女學校の設なし只二三の私塾裁縫塲の如き者ありて少々の裁縫を授け居れり束髮の如きも漸々其數を增加せり眞島郡高田村ある剛田某は女子敎育の熱心家にて數年來裁縫私塾を開き昨年來神戸英和女學校の卒業生を聘し盛に敎授の業を張れる由（同地木村要平氏より報ず）

○新潟婦人懇親會　去月十一日新潟白山公園內偕樂館にて第一會を催ほせし篠崎キチ子、近藤サダ子、尾高フミ子の發企に係る婦人懇親會ハ專ら婦人の風俗を改良するの目的にて每月一回宛開設する筈あるが其後加入者追々增加するの模樣あり

○仙臺に於る矯風會　今度東京ある婦人矯風會より仙臺の菅田勇太郎氏に會員募集の事を依賴したりしよ付き有志者ハ去る十二日午後一時より同地東二番町本願寺院跡へ集會し其會則第一禁酒、第二煙草を禁ず、第三婦人を輕蔑せざるの三箇條を守り其證を表するため一個の章牌を胸先に下る事を議決せりと同會員某よりの報

○大學女生徒の狀況　千八百七十六年中當時の文部大臣トルストー伯の奏請に由り露國女生徒の外國大學校に留學する者を防止する目的にて同年四月七日の勅令を以て內國に於ける大學設置の箇所に高等女學校の講義科を開設するとを文部大臣に委ねられたり是に於て當時外國の大學校に留學せる女生徒の數ハ一周年を經ずして殆ど半數を減少するに至りたり現に瑞西國ベルン府の大學報告書に據りて該減少の一例を徵知するに足れりとす即ち同大學の千八百七十六年に於ける後半學期間女生徒の總數三十八人の中二十七人ハ露國の女生徒あり

しが千八百七十七年の前年學期間にハ女生徒の總數十八人の中露國の女生徒ハ十五人あり又其翌年にハ女生徒の總數十六人の中露國の女生徒ハ十四人迄に減じたり然るに近年に至り文部省より女子教育の事に關しオルコンスキー侯が委員長とありて審議中の委員會議を了る迄大學女生徒の入學を停止すべき旨を發令せられたるに由り爾來露國女生徒の外國に留學する者ハ更に舊時よりも增加するに至れり而してベルン府の大學に留學する者最も多きに居れり但し同大學に於ては女生徒を遇すると男生徒に異なるとなくして一定の入學試驗を施し入學せしめたる上ハ一切男生徒と同一の權利を附與するが故に女生徒の入學者最も多きハベルン大學を以て第一とす現に目今同大學に在學する女生徒の總數ハ四十四人の多きに上り内三十七人ハ露國の女生徒なりとす爰に最も注目すべき點ハ苟も女生徒にして外國に留學するにハ第一羈旅の艱苦其他學資及家族の關係特に外國語に通曉せざるべからざる等種々の事情あるに拘らずして斯の如く留學する者の多きを以て見れハ空く素志を抱きながら前記の事情に妨げられて外國に留學すると能はざる者の數ハ必然多かるべきと是なり要するに我露國の女生徒中にハ高等の學科を修得せんと欲する者甚だ多きが故に女子高等教育の事ハ其筋に於て決して忽にすべからざる所なり(本年一月廿二日露國ノーウオスチ)「本年三月十一日官報」

○養子の妹と結婚の伺　去月十日福岡縣より他家に入嫁せし妹の配偶者の養子と爲る事は相成らず已むを得ざるものは先代の養子とし配偶者の相續人となすは苦しからざる旨曾て内務省指令の次第もありたる處玆に甲者乙の次男を貰受け養子となし而して又乙の三女養子の實妹なりを一旦丙家の養女となし然る上更に甲の妻となすは苦しからざるや又ハ如何なる事情あるも聞届難き事と可心得や但し結婚苦しからさるものとせば妻と養子の續柄如何心得へきやを伺出てたるに同月二十八日司法省より伺の趣聞届難き儀と心得へしと指令せり(二十年三月三日官報)

○相續權に就ての伺指令　竹村下京區長より京都府へ戸主死亡に付き其長女より婦女相續願出づるあり然るに戸籍内祖父(長女より指す)存生す元來婦女相續ハ男子之なく止を得ざる場合に爲すものなるべしと雖も長女ハ正當相續權あるを以て相續せしむべきや將又男子即ち祖父再相續を爲し死亡後相續すべき男子之なき時に至り初めて長女を相續せしむべき哉と伺はれしに書面前段伺の通りと指令ありたり(本年三月六日發兌中外電報)

社告

告白

女學雜誌社 **第四回點取文題** 日本婦人歎

右は日本當今の婦女が蒙る數多の東縛、困苦、不自由、等を數へ成るべく實際の儘を文章につゞりたる應答を要するものにて答文は來る三月十日迄に本社に寄送あらんことを乞ふ右日限後に到着するものは乍遺憾無據の中に收めず且つ答文は審査の上優劣を定め甲乙丙の三點を得る者には各左の賞酬を呈す

甲點者 女學雜誌 三十冊 無代呈上
乙點者 同 二十冊 同
丙點者 同 十冊 同

○通信募集の事

本誌上に各女學校の景况を一々編録仕度兼て其道の探報は致候へども何分手廻りかね候處も有之遺憾不尠候に付今度の一女學校に付一人宛通信を辱ふす可き仁を相定め度存候相應の報酬とては致兼候へども當分女學雜誌を毎號一部宛贈呈し尚ほ特別にて有益なる報告を得たる節は格別の御報謝仕候因て各女學校中有志の御方は至急御申越被下度候尤も同校より二人以上の御申越有之候節は其中の御一人にのみ委賴可致存候也

○書籍取次の事

弊社は看客の便利を圖り凡そ女學に關係ある書籍にして東京府下の書肆中にて出版したる者は一切無料にて取次郵送可仕候依て右注文の方は書名と出版者の宿所姓名とを合せて定價の金員を送附あるへし尤も大抵は其内にて郵送賃を辨じ申すと雖も大部の書は別に郵賃を請求可致候(但し女學外の書籍と雖も時宜により右様の取次可仕候也)

○書籍出版の事

弊社は女學に關係ある書籍を著作し玉ふ方々の便利を謀り適當の方法を以て其出版及發賣を擔任可致候尤も其方法は原稿一覽の上御相談仕候也

○雜誌切手の事

女學雜誌切手は女學雜誌五冊分より以上何冊分にても差出候
四季折々の御遺物には至極適當の品と存じ候也

東京新橋日吉町八番地
女學雜誌社

廣告

島田鳥山 末廣鉄腸 兩君批評 田口卯吉著

○支那開化小史 卷之三

定價金拾五錢 郵送料金八錢

此卷は前漢外戚の有樣より後漢の興亡、三國の鼎立、晉の天下を一統するに至る迄の變遷を論述せるものあり今度出版仕候間續々購讀を賜へ

木村熊二君序 田口卯吉著

○日本開化之性質

一名社會改良論

定價金拾五錢 郵送料金六錢

此書は日本の衣服飲食家屋及び文學の有樣今日の如くにては迚もイケヌ故に大本より改めねばならぬと云ふ事を述べ繪書を入れて古來風俗の沿革を示し且つ文章も平易なれば瞭解し易き書にして發兌以來大に江湖の好評を博し初版相盡き候に付今度再版仕候間陸續御注文被成下度候也

東京京橋區彌左衛門町七番地
發兌 經濟雜誌社

賣捌所
東京日本橋通二丁目 小林新兵衛
同 同三丁目 丸善書店
同 神田區小川町 集成社
同 南傳馬町一丁目 叢書閣

基督教新聞 第百十九號 二月九日發兌

●一)感覺的の宗教(二)基督信者相愛の交際●教報數十件●論説(一)日本教會設立の議(二)信者不信者の辨(了)●雜録(一)エリザベス、フライの略傳(其九)結婚後及び學校會社創立の事(二)明治十九年世界宗教の形勢(了)●質問幷答●聖書に富者を禍ありと云ひ富を退くものゝ如きは如何の答●雜報●英文教報●廣告

一每水曜日發兌一冊定價三錢府外郵税一錢

東京々橋區瀧山町六番地
警醒社

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

驛遞局認可

○國民之友第二號

三月十五日發兌

○外交の憂は外に在らずして内に在り　國民之友

○時事評論

○清英二國皇家の祝節
○條約改正會議の評定
○地方官諮問會
○相馬家の疑問
○帝國大學に退學生あり
○九州鐵道利子保證を難ず
○基督教の進步
○現今經濟世界又た奇なる哉
○朝鮮國王退位の風說
○獨逸風吹き來れり
○英公使と英商との紛議
○日英間の貿易報告書
○平和か戰爭か
○魯國好機會を得たり
○佛人敵愾の氣象
○獨人の機略
○獨墺伊三國の同盟

特別寄書

○將來の外事　尾崎行雄
○平民社會の責任　島田三郎
○東京大學出版蝦夷日本關係一斑略評　高橋五郎

雜錄

○伊藤總理大臣政治上の意見を評す
○曾紀澤支那論を讀む
○新島襄君三版將來之日本序
○佳人の奇遇
○末松氏の著書
○月雪花
○田口君の支那開化小史を讀む
○大日本人名辭書

○定價一冊八錢郵稅一錢府內無稅半年六冊前金四拾五錢外に郵稅○見本郵劵拾錢

發行所　東京府赤坂區榎坂町五番地　民友社

米國ケレー氏著○巖本善治君譯

女之未來

定價三十錢（新版）

近頃婦人論盛んなるに付ては女は未來何如やうに成行べきや甚だ掛念すべきとあり由て此書は廣く各國の事情を探り未開時代の女の有樣より漸く文明諸國の現狀に移りて遂に今後女の位置何如に進步すべきやを判斷せしものなり

東京神田雉子町　輿論社（大取次）　女學雜誌社

發兌	
三月。	五日　十二日　十九日　廿六日
四月。	二日　九日　十六日　廿三日　三十日
五月。	七日　十四日　廿一日　廿八日
六月。	四日　十一日　十八日　廿五日

定價	
一冊。五錢	郵稅。一錢（但府內無郵稅）
十冊。四十八錢郵稅。十錢	（同前）
半年分	一圓十七錢　府外は　一圓四十三錢
一年分	二圓卅四錢　府外は　二圓八十六錢

廣告	
一行（廿七字詰）	一回　前金拾錢
同	三回以上　一割引
同	六回以上　二割引
十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。	
但し不道德なる事物の廣告は謝絶す有益なる事物の廣告は社議の上無代價にて引受く女學關係の書籍は一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし	
特別廣告は婦女に關する協會會合等の記錄を揭ぐるものにて一切無料とす但し紙面半頁分の廣告を乞ふ者に右雜誌十部の注文を要し以上半頁分每に十部增の割合と定む	

女學雜誌賣捌所

東京神田區淡路町巖々堂○東京芝西久保櫻川町萬春堂○東京神田區雉子町關々社支店○同神田區佐柄木町東海堂○同日本橋區新銭町良明堂○同京橋區木挽町萬字堂○同本郷區元富士町盛春堂○同本郷區春木町二丁目解明堂○東京本鄕四丁目文壽堂○横濱伴吉町角田屋貞○京都四條通小橋へ入澤集光堂○同三條通東洞院西へ入クリスチアンボード○大坂備後町四丁目岡島支店○仙臺國分町十五番地伊勢安雜誌部○宮城縣仙臺大町木村文助○尾張國名古屋本町石版舍○出雲國松江新町盛進堂○廣島縣大手町一丁目早速社○長崎酒屋町虎與號○江州彥根西内大工町新々堂○相州小田原綠町石壽堂○上州高崎田町煥平堂○勢州松坂家里初枝

發行所　東京京橋區日吉町八番地
本局　女學雜誌社
持主兼編輯　巖本善治
印刷　森田豐

WOMEN'S MAGAZINE.
"JOGAKU ZASSHI."
Price 5 *sen*. By post *yen* 1.43 six months, *yen* 2.86 per annum, in advance.
Edited and published by Y. H. Iwamoto, at The Jogaku-Zasshi Office, No. 8 HIYOSHICHŌ, SHINBASHI, Tôkyô.

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

女之未來

定價 三十錢 (新版)

近頃婦人論盛んなるに付ては女は未來何如やうに成行べきや甚だ掛念すべきことあり由て此書は廣く各國の事情を探り未開時代の女の有樣より漸く文明諸國の現狀に移りて遂に今後女の位置何如に進步すべきやを判斷せしものなり

東京神田雉子町 輿論社 (大取次) 女學雜誌社

縣仙臺大町木村文助○尾張國名古屋本町石版舍○出雲國松江
新町盛進堂○廣島縣大手町一丁目早速社○長崎酒屋町虎與號
○江州彦根西内大工町新々堂○相州小田原綠町石壽堂○上州
高崎田町煥平堂○勢州松坂家里初枝

東京京橋區日吉町八番地

發行所 本局 女學雜誌社

持主兼編輯 巖本善治

印刷 森田豐

Digitized by Google

Original from CORNELL UNIVERSITY

驛遞局認可

○國民之友第二號　三月十五日發兌

○外交の憂は外に在らずして内より在り　國民之友
時事評論
○淸英二國皇家の祝節
○條約改正會議の評定
○地方官諮問會
○相馬家の疑問
○帝國大學に退學生あり
○九州鐵道利子保證を難ず
○基督敎の進歩
○現今經濟世界又た奇なる哉
○朝鮮國王退位の風説
○獨逸風吹き來れり
○英公使と英商との紛議
○日英間の貿易報告書
○平和か戰爭か
○魯國好機會を得たり
○佛人敵愾の氣象
○獨人の機略
○獨墺伊三國の同盟
特別寄書
○將來の外事　尾崎行雄
○平民社會の責任　島田三郎
○東京大學出版蝦夷日本關係一斑畧評　高橋五郎
雜錄
○伊藤總理大臣政治上の意見を評す
○曾紀澤支那論を讀む
○新島襄君三版將來之日本序
○佳人の奇遇
○末松氏の著書
○月雪花
○田口君の支那開化小史を讀む
○大日本人名辭書
○定價一册八錢郵税一錢府内無税半年六册前金四拾五錢外に郵税○見本郵券拾錢

發行所　東京府赤坂區榎坂町五番地　民友社

米國ケレー氏著○巖本善治君譯

女之未來

定價三十錢（新版）

近頃婦人論盛んなるより付ては女は未來何如やうに成行べきや甚だ掛念すべきとあり由て此書は廣く各國の事情を探り未開時代の女の有樣より漸く文明諸國の現狀に移りて遂に今後女の位置何如に進歩すべきやを判斷せしものなり

東京神田雉子町　輿論社　（大取次）　女學雜誌社

發兌
三月。五日　十二日　十九日　廿六日
四月。二日　九日　十六日　廿三日　三十日
五月。七日　十四日　廿一日　廿八日
六月。四日　十一日　十八日　廿五日

定價
一册。五錢　郵税。一錢（但府内無郵税）
十册。四十八錢郵税。十錢（同前）
半年分　一圓十七錢　府外は　一圓四十三錢
一年分　二圓卅四錢　府外は　二圓八十六錢

廣告
特別廣告は婦女に關する協會合等の記錄を掲ぐるものにて一切無料とす但し紙面半頁分の廣告を掲載する者に右雜誌十部の注文を要し以上半頁分毎に十部增の割合と定む
一行（廿七字詰）一回　前金拾錢
同　三回以上　一割引
同　六回以上　二割引
十行以上一割引。二十行以上二割引。四十行以上三割引。但し不道德なる事物の廣告は謝絶す有益なる事物の廣告は社議の上無代價にて引受く女學關係の書籍は一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評すべし

女學雜誌賣捌所

東京神田區淡路町巖々堂○東京芝西久保櫻川町萬春堂○東京神田區雉子町鬭々社支店○同神田區佐柄木町東海堂○同日本橋區新發町良明堂○同京橋區木挽町二丁目萬字堂○同本鄕區元富七町盛春堂○同本鄕區春木町二丁目解明堂○東京本鄕四丁目文壽堂○橫濱伴吉町角田屋貞○京都四條通小橋へ入澤集光堂○同三條通東洞院西へ入クリスチアンボード○大坂備後町四丁目岡島支店○仙臺國分町十五番地伊勢安雜誌部○宮城縣仙臺大町木村文助○尾張國名古屋本町石版舍○出雲國松江新町盛進堂○廣島縣大手町一丁目早速社○長崎酒屋町虎與號○江州彥根西內大工町新々堂○相州小田原綠町石壽堂○上州高崎田町煥平堂○勢州松坂家里初枝

WOMEN'S MAGAZINE.
"JOGAKU ZASSHI."
Price 5 *sen*. By post *yen* 1.43 six months, *yen* 2.86 per annum, in advance.
Edited and published by Y. H. Iwamoto, at The Jogaku-Zasshi Office, No. 8 Hiyoshichō, Shinbashi, Tōkyō.

發行所　東京京橋區日吉町八番地　本局　女學雜誌社
持主兼編輯　巖本善治
印刷　森田豐